

信濃川水系(千曲川)緊急治水対策プロジェクト
野高場地区堤防浸透対策 工事説明資料

日頃より、国土交通省の河川事業に、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。このたび、信濃川水系治水対策プロジェクトの一環として、野高場地区において堤防の浸透対策工事を行うことになりました。

工事期間中は一部通行制限や迂回等をお願いし、工事を進めさせていただきたい
 と思います。地元住民及び千曲橋緑地施設をご利用の皆様、堤防道路を利用される
 方々や関係者の皆様には、何かとご不便をおかけいたしますが、安全第一にて早期
 の工事完成を目指しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【工事概要】

工事名： 野高場地区浸透対策その1工事 藤森建設工業(株)

野高場地区浸透対策その2工事 (株)鹿熊組

工事場所：長野県千曲市野高場地先

工事期間： 工程表の予定です。
マレットゴルフ場の利用状況を考慮し、工事の開始は12月初旬を
予定しています。

工事内容： コンクリートブロック張護岸 ふとんかご

発注者： 国土交通省千曲川河川事務所戸倉出張所 ☎：026-275-0133

施工者： 藤森建設工業株式会社 ☎：026-214-3229

現場事務所：千曲市大字稻荷山719-1
(現場代理人) 津山 晃
(監理技術者) 青木 保

株式会社 鹿熊組 ☎ : 026-285-0135

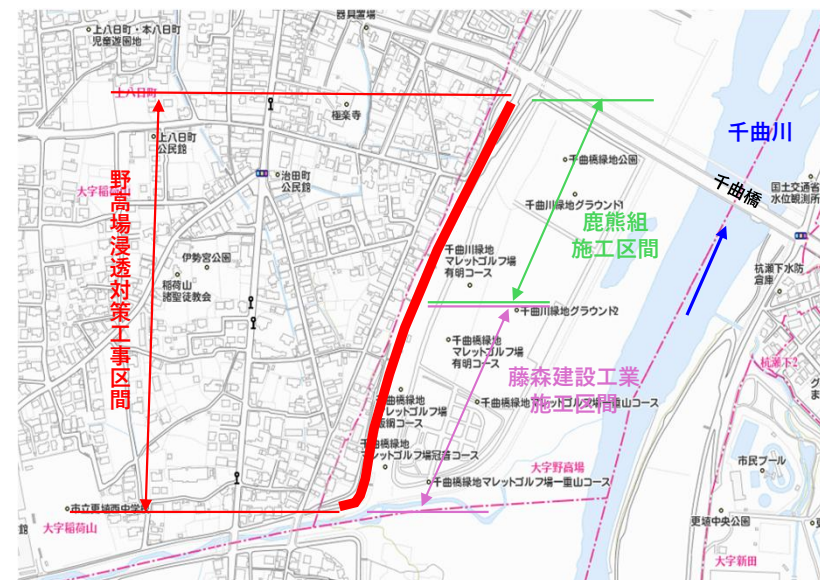
現場事務所：千曲市大字稻荷山358-1
(現場代理人/監理技術者) 袖山 喬

工事にあたってのお願い

- ・ 工事期間中、お気づきの点がございましたら現場職員又は上記担当者まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- ・ 工程表については、工事の進捗に伴い、今後変更となる場合があります。

【位置図】

令和7年10月吉日



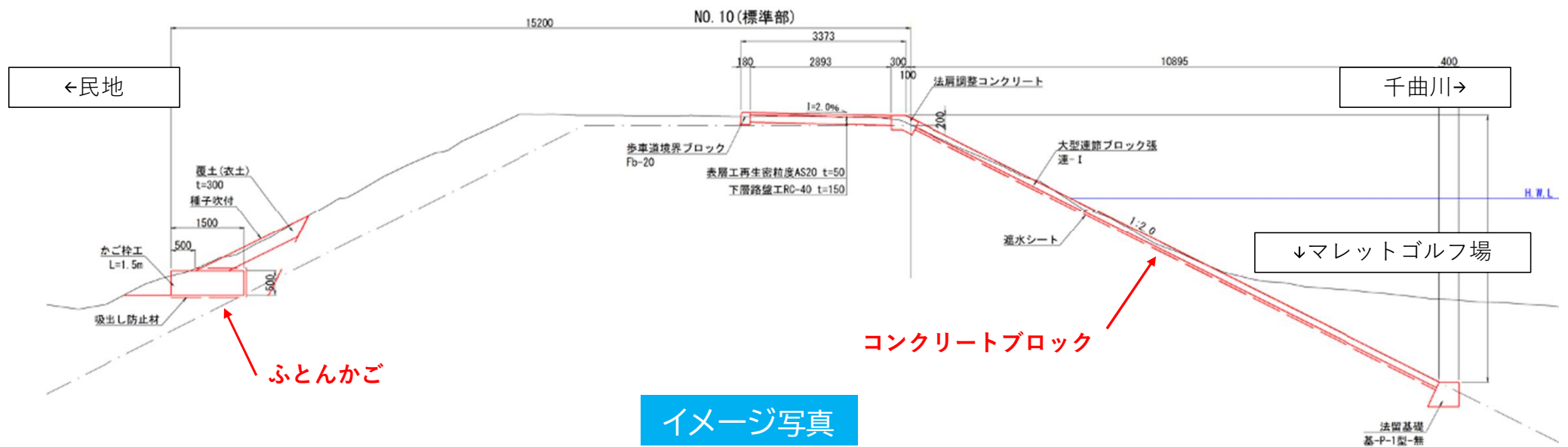
藤森建設工業(株) 工程表

[illegible]

(株)鹿熊組 工程表

[illegible]

標準横断図



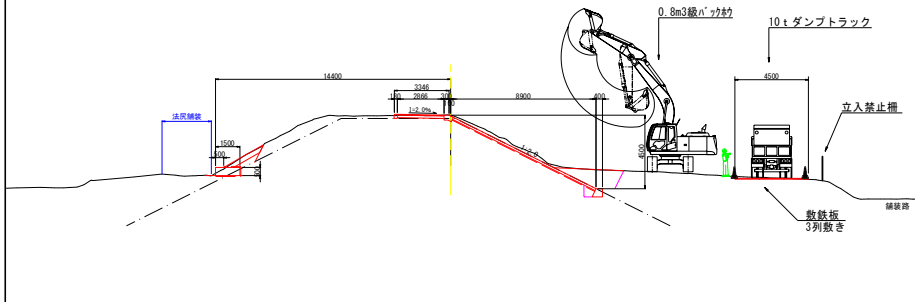
イメージ写真



工事中の機械配置図

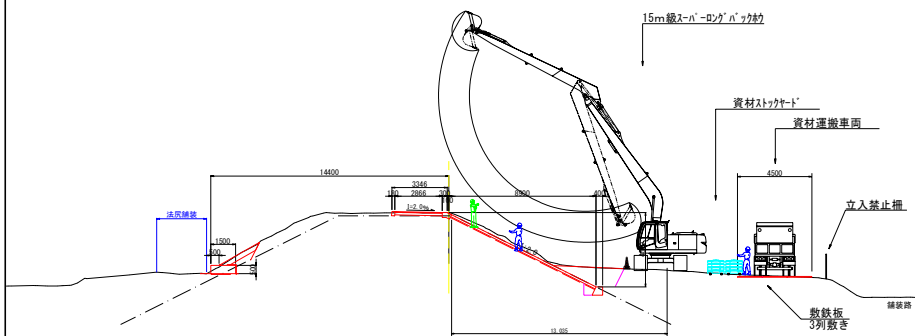
ステップ1

川表側：掘削施工図 S=1:100



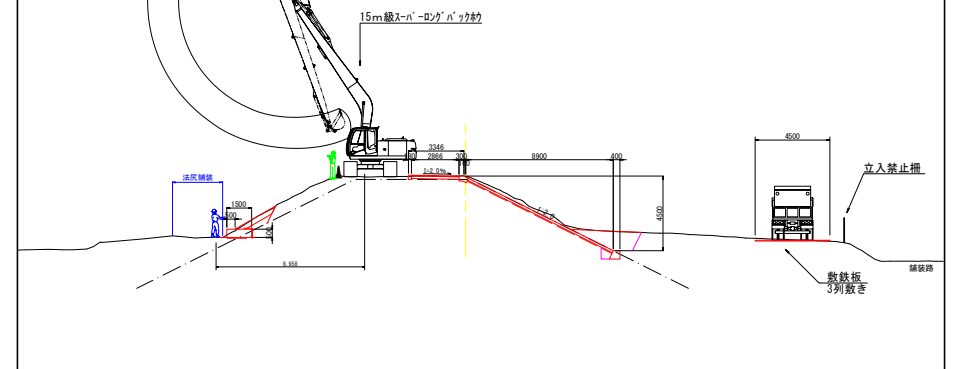
ステップ2

川表側：コンクリートブロック張護岸 施工図 S=1:100



ステップ3

川裏側：ふとんかご 施工図 S=1:100



ステップ1

コンクリートブロック張護岸を施工するために、護岸の基礎部の掘削を行います。その際、川側にバックホウを配置し掘削した土砂を大型ダンプにより移動、土砂仮置き場まで搬出します。

ステップ2

コンクリートブロック張護岸の施工は、ロングアームのバックホウにより川側より作業を行います。使用する資材は大型トラックにより適宜搬入し作業箇所近くにストックします。

ステップ3

ふとんかごの施工は堤防上より、ロングアームのバックホウにて掘削を行います。掘削後は吸出し防止材を敷設しかごを組み立てます。その後、碎石を詰め埋め戻します。

通行規制及び迂回路

- ・12月より現場作業が開始となり、来年5月末頃完了予定となります。ご不便をおかけしますが工事期間中は迂回をお願いします。
- ・詳細については現地に案内看板等を設置しますのでご確認をお願いします。
- ・工事車両出入口付近に交通誘導員を配置いたしますので、ご通行の際は誘導員の指示に従いご通行をお願いします。

千曲橋緑地出入口
工事期間中はコチラより出入り
をお願いします。

サイクリング道路通行止め
令和7年12月1日～

土砂仮置き場

千曲橋

千曲川

千曲橋緑地

一般車専用通路

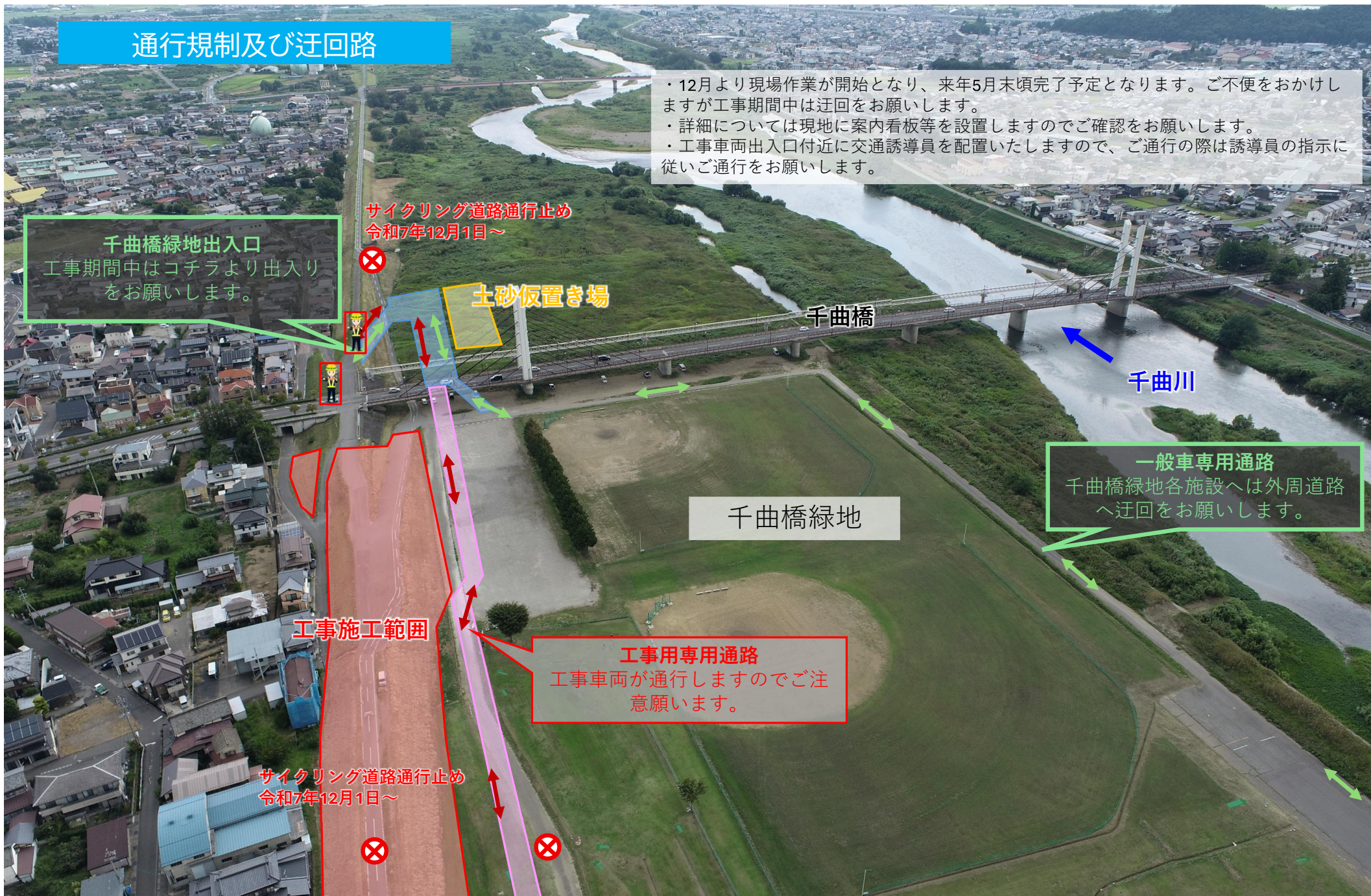
千曲橋緑地各施設へは外周道路
へ迂回をお願いします。

工事施工範囲

工事用専用通路

工事車両が通行しますのでご注
意願います。

サイクリング道路通行止め
令和7年12月1日～



千曲橋緑地施設利用の制限

図に示す範囲のマレットゴルフコース 飯綱コース1～4、冠着コース1～2および自由広場の一部範囲は、工事施工に伴い使用を制限させていただきますのでご協力をお願いいたします。

また、施設利用以外であっても工事範囲への立ち入りはご遠慮いただきますようお願いいたします。

その他のコース及び施設は工事期間中もご利用いただけます。

千曲橋緑地施設案内図



～施設利用制限から使用再開見込みまでの流れ～

令和7年12月～令和8年4月末頃まで

該当の範囲は、掘削および工事車両の走行や建設機械の稼働により使用いたします。

令和8年4月～令和8年5月末頃まで

工事により傷んだ芝等の復旧作業を行います。

令和8年5月～令和8年6月末頃まで

復旧した芝生を適切に養生し、生育及び活着する期間が必要となります。

令和8年7月上旬頃

コースが利用再開できる見込みです。

